

東京大学低温センター 低温センター・ニュース

<http://www.crc.u-tokyo.ac.jp> TEL. 2851,2852(事務室), 2853(技官室)

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます

皆様にとって健康で実り多い年であることを希望しております。

さて低温センターの役割としては低温での研究開発、共用装置の利用に関するサービスと並んで、寒剤の供給が重要な業務となっています。低温センターとしてはなるべく低い単価で、利用者の満足の行く供給をしたいと考えています。液体ヘリウムの供給の仕方に関しては、今年から都庁による保安検査を従来とは時期を変え(需要の少ない4月を考えている)、供給休止期間をなるべく短くするよう努力する予定です。一方、単価に関しては配達に必要な経費等は今より安くなることはほとんど考えられず、むしろ年々微増すると考えざるを得ません。これは度々強調されてきたことですが、ヘリウムガスの回収率は単価に直接反映されます。ヘリウムは貴重な資源であり、回収率の向上は、単に単価を引き下げるだけの効用だけではなく、貴重な資源を大切に使う意味も勿論あります。低温研究にはどうしても必要な液体ヘリウムをなるべく安い単価で手に入れ、液体ヘリウム代に制限されないで低温での研究ができるようにヘリウムガスの回収率向上にご協力下さいますようお願いいたします。

低温センター長 内野倉 國光

(大学院工学系研究科 物理工学専攻 教授)

○人事異動

低温センター業務掛内山隆司文部技官は1月1日付けを以て高エネルギー加速器研究機構(放射光)に配置換えになりました。これに伴い、後任として高エネルギー加速器研究機構田無分室から佐藤信吾文部技官が就任しました。

低温センター事務室の鈴木典子事務補佐員は昨年10月17日に退職され、新たに12月10日付けで新井直美事務補佐員が採用されました。

○ヘリウムガス回収率

平成9年度 11月分 (単位は全て立方dm)

	11/4在庫	12/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	261.4	264.5	718.2	579.7	135.4	81.1
工サブ	305.4	468.2	2,669.1	2,391.5	114.8	95.4
生化NMR	121.2	100.8	0.0	17.2	3.2	84.3
農学NMR	114.8	115.1	0.0	22.3	-22.6	-
総合試験所	69.2	154.0	690.2	399.0	206.4	65.9
システム量子	0.0	0.0	0.0	2.9	-2.9	-
備考	回収量 ☆回収率 = (供給量 + 11/4在庫) - (12/1在庫) ☆回収ガスは純度100%として回収量、回収率を計算					

平成9年度 12 月分 (単位は全て立方メートル)

	12/1在庫	1/5在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	264.5	165.1	852.6	590.7	361.3	62.0
エサブ	468.2	270.3	3,003.7	2,879.7	321.9	89.9
生化NMR	100.8	120.4	65.8	47.0	-0.8	-
農学NMR	115.1	66.7	89.6	73.9	64.1	53.6
総合試験所	154.0	86.5	870.8	421.1	517.2	44.9
システム量子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
備考	回収量 ☆回収率 = (供給量+12/1在庫) - (1/5在庫) ☆回収ガスは純度100%として回収量、回収率を計算					